

「日本の医療を守る市民の会」第5回勉強会のお知らせ

農村医療の現場から日本の医療を語る

講演内容（予定）

- ・メディアリテラシーとメディカルリテラシー
- ・日本の医師数、いつから不足？
- ・私ども佐久病院にも医療崩壊の波が
- ・医療費抑制、国際比較すると？
- ・人の死亡率は？ 「 $S = P + O - pE$ 」
- ・「医者のないところで」

講師 色平哲郎（いろひらてつろう）氏

JA 長野厚生連・佐久総合病院 地域医療部 地域ケア科医師、内科医、NPO「佐久地域国際連帯市民の会（アイザック）」事務局長

【プロフィール】

1960年神奈川県横浜市生まれ、48歳。東京大学中退後、世界を放浪し、医師を目指し京都大学医学部へ入学。90年同大学卒業後 JA 長野厚生連・佐久総合病院、京都大学付属病院などを経て長野県南佐久郡南牧（みなみまき）村野辺山へき地診療所長。98年より南相木村の診療所長となる。外国人HIV感染者・発症者への「医職住」の生活支援、帰国支援を行うNPO「アイザック」の事務局長としても活動を続ける。こうした活動により95年、タイ政府より表彰を受ける。

日時 2008年7月1日（火）午後6時30分～午後8時30分

場所 中野サンプラザ（中野区中野4-1-1） 8F 研修室（JR 中野駅北口徒歩2分）

参加費 1,500円（税込み）セミナー当日、受付にてお支払いいただきます。

申込み メールもしくはFAXにてお願いいたします。

sugumam@blue.ocn.ne.jp FAX 03-3383-6030

お問い合わせ 生活設計塾クルー内藤眞弓まで TEL 03-5342-6250

「日本の医療制度を守りたい」との思いから、フリーライターの早川幸子とファイナンシャルプランナーの内藤眞弓の二人で立ち上げました。医療制度は国の根幹に関する問題です。誰かにお任せではなく、将来世代に対して責任を負う私たち一人ひとりが声を上げていかなければなりません。医療に関する理解を深めるための勉強会を適宜開催し、医療の質を確保するための具体的な行動を起こしていきます。一緒に参加して下さる方すべての方が会員です。